

内閣府主催

「女性のチャレンジ賞」

受賞者を紹介します！

内閣府男女共同参画担当特命大臣表彰「女性のチャレンジ賞」は、起業、NPO法人での活動、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人や女性団体・グループ、また、そのようなチャレンジを支援する個人や団体・グループに対する国の表彰です。

平成30年度は全国4個人・団体のうち、鶴田町の岡詩子さんと津軽海峽マグロ女子会が受賞しました。



左から、三村申吾青森県知事／岡詩子さん／高木まゆみさん(津軽海峽マグロ女子会)
7月10日(火)に三村知事へ受賞を報告しました。

岡詩子さん

(おかつたこ)
(鶴田町)
■ハンサムリネンKOMO代表
■つるた街プロジェクト代表

平成23年に、縫い目の見えない完全手縫いリネン製品を製作・販売する「ハンサムリネンKOMO」を起業し、ハンドクラフト作家として本格的に事業を展開。

起業をきっかけに、子育て中のママたちと一緒に鶴田町を元気にする「つるた街プロジェクト」を立ち上げ、さまざまなイベントを実施。中でも「星空のキャンドルナイトin鶴田」は、現在では1,000人呼び込むイベントに成長。フリーペーパーやSNSを活用した情報発信にも取り組み、地元への愛を原動力にさらなるチャレンジを続けている。

つるた街プロジェクトは、西北地域男女共同参画ネットワークでも活躍中！

★受賞コメント★

あまり実感がありません。自分がいただいたという気にはあまり思えず不思議な気持ちです。ただ、自分が好きなことを好きなようにやってこられたのは家族や仲間をはじめ、周りのお世話になっている方々のおかげなので、この度の賞もその周りの方々が受賞されたものだと思っています。そういう意味では周りの方々の素晴らしさが国に評価されてとてもうれしいです。これからもやりたいことを等身大で続けていきたいと思っています。

津軽海峽マグロ女子会

(つがるかいきょうまぐるじょしかい)
■青森県側とりまとめ 島康子(しまやすこ)さん
■北海道側とりまとめ 杉本夏子(すぎもとなつこ)さん

通称マグ女。平成26年に誕生した、青森県とみなみ北海道のパワフルな女性約80人が集結したまちおこしグループ。津軽海峽を泳ぎ続けるマグロのように、次から次へとチャレンジし続ける女性達のアライアンス。
メンバー自らが企画しもてなすプログラムを展開したり、津軽海峽エリアの食材を活かした弁当を監修したりするなど、地域に暮らすマグ女ならではのディープな魅力を発信し続けている。



マグ女監修「ぐ・さがな弁当」販売

★受賞コメント★

津軽海峽圏の元気づくりをしたいという熱い気持ちで、地域の皆さんと共にチャレンジし続けています。人と人がつながれば、新しい道ができてもっと面白いことができる。これからもみんなで一緒にエイエイオー！

津軽海峽マグロ女子会からのお知らせ

マグ女のセイカン博覧会2018を開催します！
9月15日(土)～11月30日(金)まで、マグ女ならではのおもてなしや楽しみ方を折り込んだディープな約30のプログラムを用意していますので、是非遊びにきてください。

<お問合せ>TEL017-752-6705(また旅くらぶ)
受付時間/平日10時～16時

マグ女セイカン

ハンサムリネンKOMOからのお知らせ

ふわりと巻いて風を受ければ放熱し、しっかり巻くと保温してくれるリネンストールを無縫製で作っています。生地を重ねると保温性が高まるので、寒い季節の「冬リネン」を御提案しています。アトリエは不定期営業です。営業日をInstagramやフェイスブックで御確認の上、お越しく下さい。



KOMO リネン